



【取組内容】

- SDG4「質の高い教育をみんなに」の実現に向けて、病気等により校外学習参加が困難な児童生徒を対象に、**5Gでの高精細映像伝送、VR、水中ドローン等の先端技術を活用**して、SDG14「海の豊かさを守ろう」をテーマに水族館と病院内学級をリアルタイムで結んだ**遠隔校外学習**を実施。
- 新型コロナウイルス感染症流行によって遠隔教育の需要が高まる今日、遠隔教育の実施を検討する国内外の多くの教育機関・団体の活動に貢献。また、**様々な理由で登校することが難しい子ども、中山間地や過疎化地域の子どもの等を対象**に、広く用いられる教育指導方法の一つとなることが期待される。
- 産学官など**多様なセクターで連携し**、SDG17「パートナーシップで達成しよう」での取組を実施。

SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）

普遍性：	コロナ禍で遠隔教育が急速に普及している中、誰一人取り残さないための教育指導方法の一つとして、世界中で活用できる。
包摂性：	病気や様々な理由で登校が困難な子どもに加えて、コロナ禍の全ての子どもの可能性を引き出すために有効な教育指導法である。
参画型：	多様なセクターで社会課題解決へ取り組むソーシャルデザインプロジェクトとして、大学や特別支援学校、水族館、財団等と連携。
統合性：	本業のビジネスを通じて、社会・環境の課題解決に取り組む。
透明性と説明責任：	富士通株式会社と関西学院大学の産学連名プレスリリース公開や、Webサイト等から広く双方での発表を行っている。

